

令和3年度 決算と
令和4年度 上半期

有田川町の

財政事情

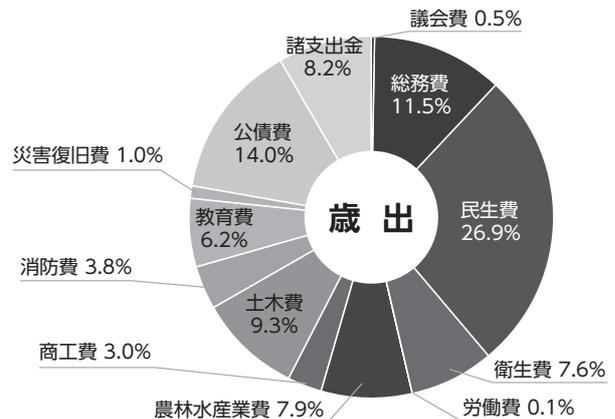
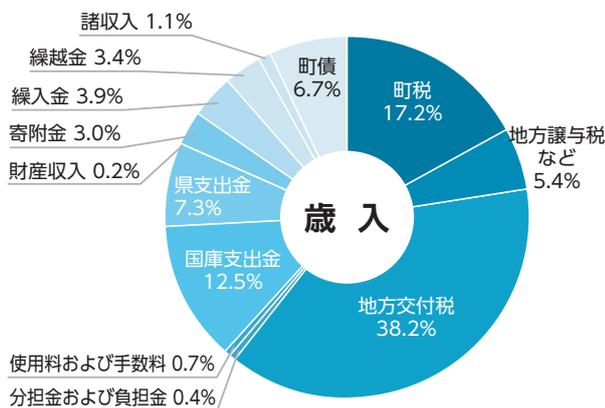
令和3年度の決算の状況および令和4年度の9月30日現在の予算額の執行状況について公表します。この財政事情は町民の皆さまに町財政の状況をお知らせし、その実態についてご理解をいただくためのものです。

令和3年度 各会計の決算状況

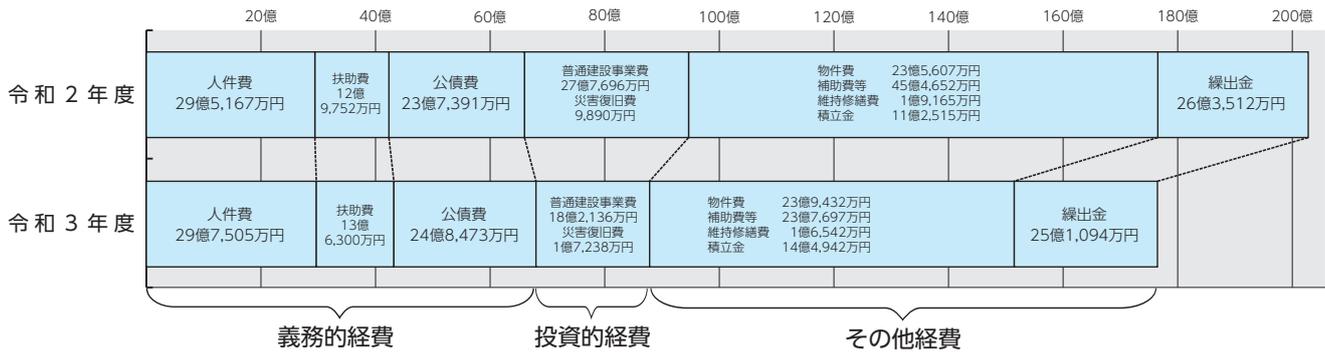
会計区分	収入済額 ①	支出済額 ②	差引額 ③=①-②	翌年度へ繰り越すべき財源 ④	実質収支額 ③-④	令和元年度末 地方債残高
一般会計	183億5,132万円	177億1,359万円	6億3,773万円	1億6,529万円	4億7,244万円	163億5,861万円
国民健康保険事業特別会計	34億6,956万円	34億6,398万円	558万円	0円	558万円	0円
後期高齢者医療特別会計	8億1,498万円	8億407万円	1,091万円	0円	1,091万円	0円
介護保険事業特別会計	31億4,183万円	30億8,023万円	6,161万円	0円	6,161万円	0円
特別養護老人ホーム等事業特別会計	228万円	228万円	0円	0円	0円	0円
簡易水道事業特別会計	4億8,254万円	4億8,165万円	90万円	0円	90万円	19億8,223万円
公共下水道事業特別会計	12億6,991万円	12億6,991万円	0円	0円	0円	90億4,476万円
農業集落排水事業特別会計	2億9,531万円	2億9,531万円	0円	0円	0円	9億7,017万円
簡易排水事業特別会計	190万円	190万円	0円	0円	0円	292万円
浄化槽事業特別会計	645万円	645万円	0円	0円	0円	2,274万円
かなや明恵峡温泉特別会計	7,117万円	7,040万円	77万円	77万円	0円	0円
岩倉財産区管理会特別会計	0円	0円	0円	0円	0円	0円
粟生財産区管理会特別会計	40万円	0円	40万円	0円	40万円	0円
城山山林財産区管理会特別会計	196万円	0円	196万円	0円	196万円	0円
八幡山林財産区管理会特別会計	349万円	71万円	279万円	0円	279万円	0円
安諦山林財産区管理会特別会計	8万円	0円	8万円	0円	8万円	0円
合計	279億1,318万円	271億9,047万円	7億2,271万円	1億6,606万円	5億5,666万円	283億8,141万円

※前年度からの繰越事業分も含まれています。また、端数処理のため合計欄等の数値が一致しない場合があります（以降の表についても同じ）。

令和3年度 一般会計の決算状況



令和3年度 一般会計（歳出）性質別決算額



令和3年度決算の概要

歳入

前年度と比べて26億2,387万円の減額となりました。項目別で増額・減額となった主なものは次のとおりです。

- 増となったもの
- ・ 寄附金
- ・ ふるさと応援寄附金

減となったもの

- ・ 国庫支出金
- ・ 新型コロナウイルス感染症関連事業にかかる国からの交付金
- ・ 町債
- ・ 吉備庁舎大規模改修事業・防災行政無線デジタル化改修事業等の大型事業終了によるもの

歳出

前年度と比べて26億3,988万円の減額となりました。項目別で増額・減額となった主なものは次のとおりです。

- 増となったもの
- ・ 衛生費
- ・ 新型コロナウイルス感染症ワクチン接種

- ・ 土木費
- ・ 町道大規模補修事業
- ・ 災害復旧費

令和3年5月発生梅雨前線豪雨災害の災害復旧事業

- ・ 公債費

吉備庁舎大規模改修事業・防災行政無線デジタル化改修事業等の元利償還金の償還が始まったことによるもの

減となったもの

- ・ 新型コロナウイルス感染症関連費（特別定額給付金事業、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金活用事業など）
- ・ 総務費
- ・ 吉備庁舎大規模改修事業
- ・ 消防費
- ・ 防災行政無線デジタル化改修事業

目的税等の使途の明確化について

- ・ 入湯税については、環境衛生施設、鉱泉源の保護管理施設および消防施設その他消防活動に必要な施設の整備並びに観光の振興に要する費用に充てる目的税であることから、観光振興基金へ積み立てています。
- ・ 地方消費税交付金の社会保障財源化分については、老人福祉費および障害者福祉費へ充当しています。

一般会計決算額を 町民1人あたりに換算すると…

1人あたりの町税負担額は
12万2,313円（前年比2.3%増）

1人あたりの町債残高は
63万4,448円（前年比5.6%減）

※人口（令和4年3月末現在）2万5,784人

用語解説

一般会計・特別会計／さまざまな事業に対応するため、収支が複雑化しないように財布を分けています。一般会計は行政運営の基本的な経費を網羅して計上した会計であり、特別会計以外の全ての経費は一般会計で処理しています。一方、特別会計とは、一般会計に対し、特定の歳入歳出を一般の歳入歳出と区別して処理するための会計です。

実質収支額／形式収支（各会計年度における歳入総額から歳出総額を単純に差し引いた額）から、翌年度への繰り越すべき財源を差し引いた額。

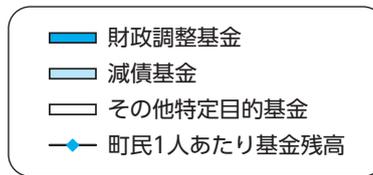
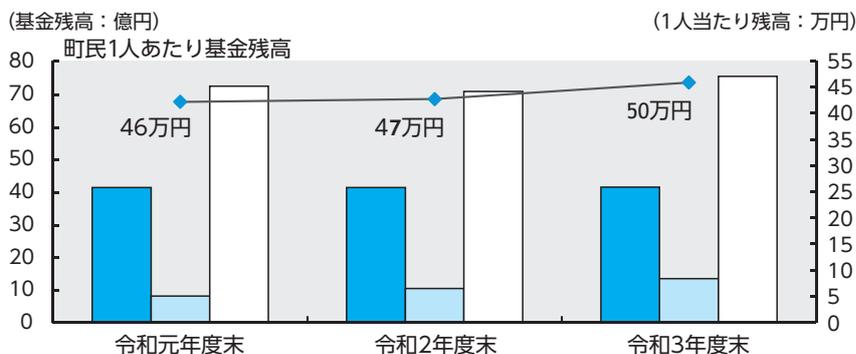
町債／特定の歳出に充てるため、町が年度を超えて元利を償還する借入金のこと。

令和3年度 公営企業会計の決算状況

※税込み

水道事業会計	収入済額	支出済額	差引	令和3年度末地方債残高
1.収益的収支	5億2,237万円	3億7,352万円	1億4,885万円	4億4,021万円
2.資本的収支	1,223万円	1億6,305万円	▲1億5,082万円	

基金残高の状況

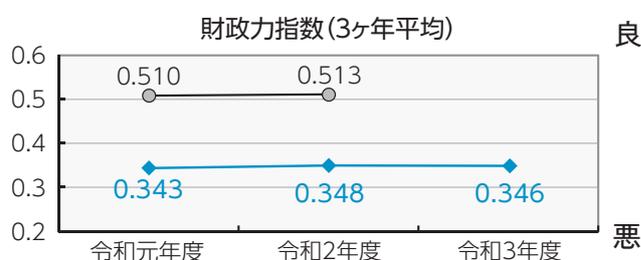
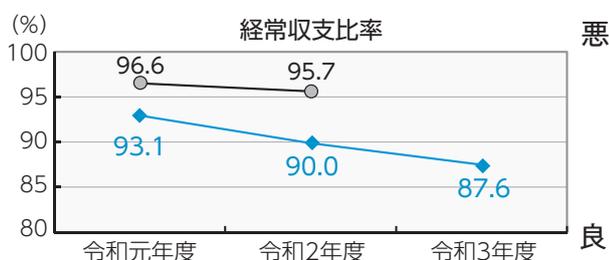


令和3年度において、主に積み立てたものとしては、ふるさと応援基金へ5億5,383万円、減債基金へ3億141万円、公共施設整備基金へ4億6,592万円です。

また、きびドーム大規模改修事業等を実施するために公共施設整備基金から2億9,780万円を取り崩し、その他目的基金から取り崩したものとしては、ふるさと応援基金の2億6,417万円が主なものです。

	令和元年度末	令和2年度末	令和3年度末
財政調整基金	41億3,063万円	41億3,589万円	41億4,148万円
減債基金	8億1,448万円	10億4,552万円	13億4,693万円
その他目的基金	72億3,812万円	70億6,996万円	75億2,875万円
合計	121億8,323万円	122億5,137万円	130億1,716万円

主な財政指標



○経常収支比率について

当比率は、人件費・扶助費・公債費などの経常的な経費に充当された一般財源の額が、地方税や普通交付税などの一般財源の合計に占める割合を表し、比率が低いほど財政構造に余裕があると言われています。

令和3年度の比率については、前年度に比べ2.4ポイント減少しました。

○財政力指数について

地方交付税にどれだけ頼らずに財政運営をしているかを表し、指数が1.0に近いほど財源に余裕があると言われています。

令和3年度の指数は0.346となっており、一般財源の多くを地方交付税等で賅っている状況です。

※各指標に係る、令和3年度の県内市町村平均値は公表されておりません。

◆ 有田川町 ● 県内市町村平均

用語解説

水道事業／水道事業は「企業会計」です。収益的収支とは、水道料金を主な財源とし、施設の維持管理や借入金利息返済などを行います。資本的収支とは、借入金などを主な財源とし、施設の建設や借入金元金返済などを行います。

基金／特定の目的のために、維持あるいは積み立てられる資金または財

産。財政調整基金は、地方公共団体における年度間の財源の不均等を調整するために設けられる基金のことで、減債基金は、地方債の償還（返済）を年度を越えて計画的に行うために設けられる基金のことです。

一般会計予算の執行状況

歳入科目	予算額	収入済額
1 町税	29億4,201万円	22億2,622万円
2 地方譲与税	2億2,763万円	8,147万円
3 利子割交付金	250万円	85万円
4 配当割交付金	1,400万円	575万円
5 株式譲渡所得割交付金	1,800万円	0円
6 法人事業税交付金	2,900万円	2,006万円
7 地方消費税交付金	5億3,000万円	3億2,206万円
8 ゴルフ場利用税交付金	2,500万円	1,116万円
9 環境性能割交付金	1,300万円	511万円
10 地方特例交付金	2,000万円	2,931万円
11 地方交付税	62億5,000万円	43億7,687万円
12 交通安全対策特別交付金	220万円	112万円
13 分担金及び負担金	6,033万円	2,708万円
14 使用料及び手数料	1億2,474万円	4,790万円
15 国庫支出金	20億5,712万円	4億7,332万円
16 県支出金	13億2,397万円	9,800万円
17 財産収入	3,844万円	1,719万円
18 寄附金	10億410万円	1億504万円
19 繰入金	19億4,596万円	0円
20 繰越金	4億891万円	6億3,773万円
21 諸収入	2億1,283万円	8,171万円
22 町債	9億3,770万円	0円
合計	181億8,744万円	85億6,793万円

歳出科目	予算額	支出済額
1 議会費	9,390万円	4,784万円
2 総務費	22億8,086万円	7億1,683万円
3 民生費	46億8,921万円	14億6,456万円
4 衛生費	14億2,036万円	4億5,549万円
5 労働費	1,161万円	335万円
6 農林水産業費	14億6,489万円	3億2,002万円
7 商工費	7億8,077万円	2億8,149万円
8 土木費	16億7万円	2億4,794万円
9 消防費	7億5,701万円	3億342万円
10 教育費	12億9,126万円	5億845万円
11 災害復旧費	4,634万円	3,318万円
12 公債費	24億8,026万円	12億1,279万円
13 諸支支出金	12億5,409万円	836万円
14 予備費	1,683万円	0円
合計	181億8,744万円	56億372万円

特別会計予算の執行状況

会計区分	予算額	収入・支出済額
国民健康保険事業	36億4,329万円	収入済額 16億3,359万円
		支出済額 15億9,682万円
後期高齢者医療	7億7,728万円	収入済額 1億2,122万円
		支出済額 2億6,965万円
介護保険事業	32億9,473万円	収入済額 12億9,539万円
		支出済額 12億2,941万円
特別養護老人ホーム等事業	496万円	収入済額 6万円
		支出済額 6万円
簡易水道事業	5億3,053万円	収入済額 7,900万円
		支出済額 2億2,593万円
公共下水道事業	15億3,414万円	収入済額 7,810万円
		支出済額 6億4,922万円
農業集落排水事業	2億8,389万円	収入済額 1,993万円
		支出済額 1億1,984万円
簡易排水事業	209万円	収入済額 34万円
		支出済額 119万円
浄化槽事業	696万円	収入済額 191万円
		支出済額 150万円
かなや明恵峡温泉	7,612万円	収入済額 3,059万円
		支出済額 4,522万円
岩倉財産区管理会	5万円	収入済額 0円
		支出済額 4万円
粟生財産区管理会	39万円	収入済額 39万円
		支出済額 4万円
城山山林財産区管理会	197万円	収入済額 196万円
		支出済額 4万円
八幡山林財産区管理会	267万円	収入済額 278万円
		支出済額 4万円
安諦山林財産区管理会	13万円	収入済額 8万円
		支出済額 4万円
合計	101億5,921万円	収入済額 32億6,535万円 支出済額 41億3,906万円

公営企業会計予算の執行状況

	歳 入		歳 出	
	予算額	収入済額	予算額	支出済額
1. 収益的収支	4億9,440万円	2億5,022万円	4億1,001万円	7,409万円
2. 資本的収支	1,560万円	56万円	2億2,191万円	2,048万円

町債および一時借入金の状況

会計区分	現在高
一般会計	151億9,953万円
簡易水道事業特別会計	18億6,028万円
公共下水道事業特別会計	87億5,580万円
農業集落排水事業特別会計	9億447万円
簡易排水事業特別会計	263万円
浄化槽事業特別会計	2,203万円
水道事業会計	4億2,128万円
合計	271億6,602万円
一時借入金 (一般会計および特別会計)	0円

基金の状況

区 分	現在高
財政調整基金	41億4,913万円
減債基金	13億4,693万円
その他特定目的基金	75億2,946万円
合計	130億2,552万円

一般会計決算額を
町民1人あたりに換算すると…

1人当たりの町税負担額は **11万4,453円**

1人あたりに使われるお金(繰り越し含む)

70万7,545円

1人当たりの町債残高は **59万1,306円**

※人口(令和4年9月末現在)2万5,705人